

いま、中国人従業員が知りたいと思っていること

このたびの震災で被災された皆さまには心よりお見舞いと一日も早い復興をお祈りしております。

さて、この震災によって、多くの外国人が帰国したり、不安を感じたりしているのは、すでに報道されているところです。現在、日本で働いている外国人にしても、心の隅で何らかの不安を抱えているであろうことは容易に想像できます。県内の企業で、皆さまの同僚として働いていただいている中国人研修生・労働者の皆さんも同様です。

そこで、「震災関連で中国人の皆さんが知りたいがっている情報」を紹介します。

筆者の所属する多文化間精神医学会では福島県国際交流協会と協働し、同県在住の中国の方々向けにニューズレターなど通して情報提供をすることになりましたが、それに先立ち、「いま、中国人が気にしていること」をアンケート調査および聞き取り調査おこないました。アンケート調査の対象は、筆者の勤務する近畿医療福祉大学の留学生。被災地から離れた日本国内在住ですので、岡山県内在住者と条件は似ています。

1. 留学生へのアンケート調査

本調査者の勤務する、近畿医療福祉大学の中国人留学生に対しアンケート調査をおこないました。「震災によるこころの問題（PTSD）」「震災によるこころの問題（PTSD 以外。不眠やうつなど）」「食品への影響」「放射能の影響」「政治・政策」の5項目について、関心の度合いを5段階で選択してもらいました。

さらに、自由記入欄をもうけて記入してもらいました。

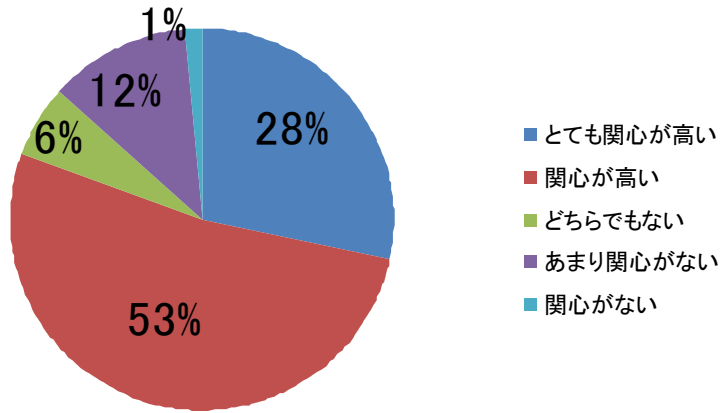
2. 中国人脈への聞き取り調査

本調査者は、前職、外務省医務官として03年より3年間北京に在勤し、退官後も時折訪問しています。その人脈から、外国人向けクリニック医師・歯科医師・事務職、大学教授に「いま、中国の一般市民が日本に行くとしたら何を気にするか」について思い思いに語っていただきました。

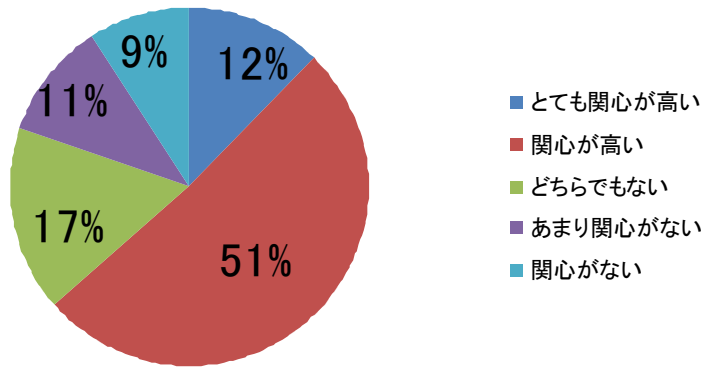
II. 結果

上記、5項目の関心度合いを示します。

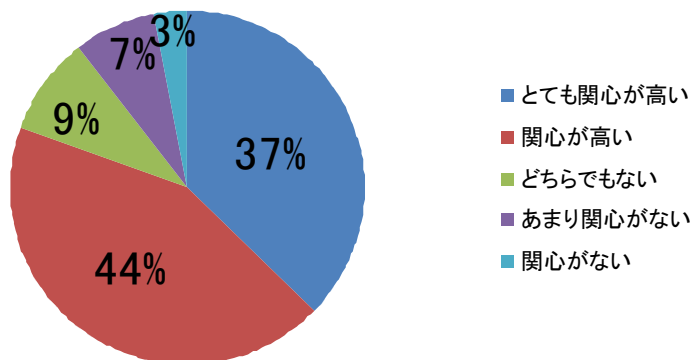
こころの問題(PTSD)

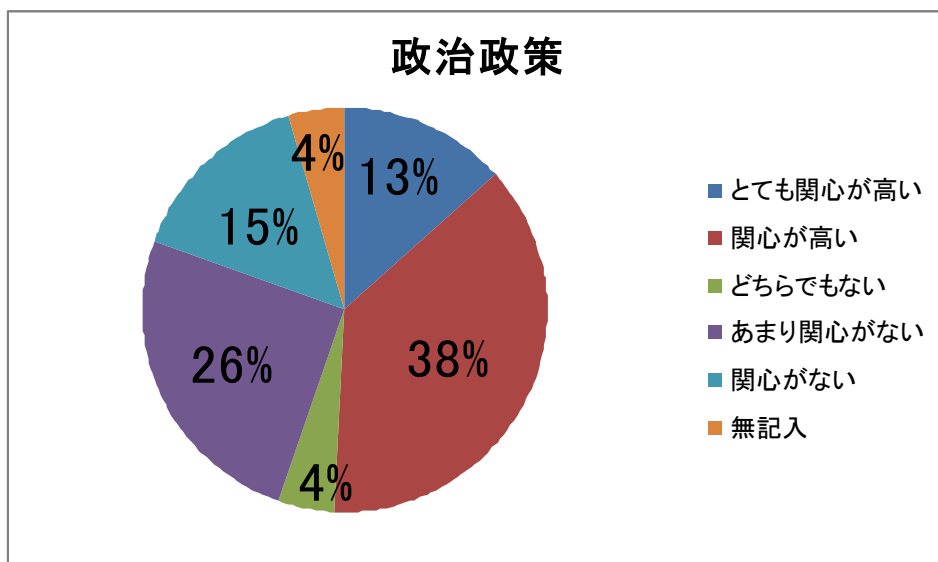
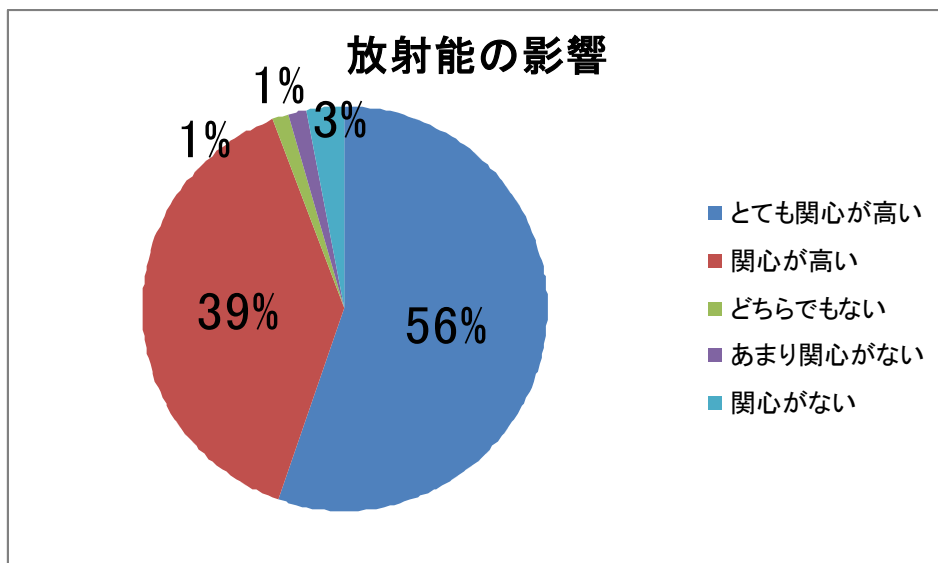


こころの問題(PTSD以外)



食品への影響





「とても関心が高い」「関心が高い」あわせた数字では放射線関連が最も高く（95%）、自由記入欄でも、健康への影響について知りたいという記述が多く見られました。

次に「PTSD」と「食への影響」が同率で並びました（81%）。毎日食べる食品の安全性について敏感になるのは当然ですが、「PTSD」にもそれと同程度の非常に高い関心が示されました。トラウマ関連の情報が強く求められています。PTSD 以外のメンタル関連問題にも 63%と相当数の関心が向けられています。

他方、政治政策については 51%、無関心層の割合が高く、復興基本法など直接関係する部分が少ないことに加え、被災者置き去りの政争に冷たい眼差し向けられているのかもしれない。

自由記入欄および、聞き取りから、目だったものを紹介します。

- * 放射能による「生殖機能への影響」が大変気になる。
- * 食品への影響。何を食べたらいけなくて、何なら食べてよいのか。
- * 今食べている野菜は大丈夫か？
- * 食品水は大丈夫か？空気は安全か？
- * 心理の影響は？人間に何の障がいがあるのか？
- * どこへ行ったらいけなくて、どこなら震災前同様に安全なのか？
- * 最新の旅行情報がほしい。
- * 被災者の生活はどうなっているのか？
- * 日本にはもう一度大地震があると聞いたが、いつどこに来るか？

また、政治への無関心とは裏腹に、経済への関心を記入したものが目立ちました。

- * 将来日本の経済どうなるか？発展大丈夫か？ など。

皆さまの同僚の中国の方々、このような事を心配しています。職場の彼らに対し、これらのトピックに関する新聞記事などあれば、わかりやすく説明してあげれば喜ばれるのではと思います。安心して日本で仕事を続けていただけることを願っております。